

学術情報センター ニュース

第37号目次

《トピックス》

- 平成8年度学術情報ネットワークの整備と拡充 …… 2
- 電子メールシステムの機種更新 …… 3
- 新目録所在情報システム開発の進捗状況 …… 4
- 新IR試験公開 …… 4
- 学術雑誌総合目録CD-ROM新システムの開発 …… 6
- 学術情報センター10周年記念事業 …… 7
- 学術論文数の国際比較調査 …… 8
- 海外からの来訪者 …… 9

《NACSISサービス案内》

- 「科学研究費補助金採択課題データベース」
サービス開始 …… 11
- サービス予定のデータベース …… 12
- 「雑誌記事索引データベース」の改訂 …… 12
- 学術雑誌総合目録和文編1996の編集状況 …… 13
- 電子図書館サービス協力者会議および学協会
への説明会の開催 …… 14
- 学術の総合情報センター（仮称）-建設工事
順調に進む …… 15

- 接続ニュース …… 15
- NACSIS-IRデータベース収納状況 …… 16
- NACSIS-CATデータベース構築状況 …… 18

《教育・研修》

- 神戸大学共催の目録システム地域講習会
（雑誌コース）の開催 …… 19
- 講習会日程の変更 …… 19
- 平成8年度 サービス利用説明会開催 …… 19

《講演会など》

- 平成8年度 学術情報センターシンポジウム
の開催 …… 21

《その他》

- 学術情報センター刊行物一覧 …… 22
- 人事異動 …… 23
- 海外渡航一覧 …… 23
- 海外からの来訪者一覧 …… 24

平成8年度学術情報ネットワークの整備と拡充

1. 広域ATM交換網の構築開始

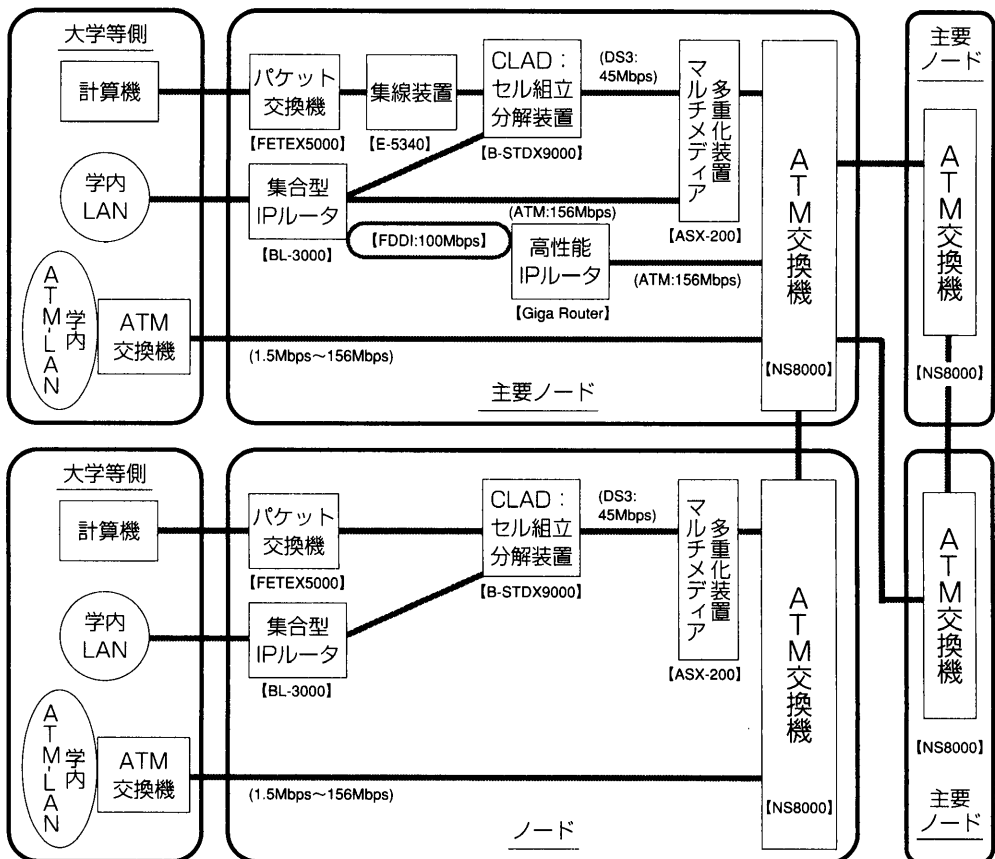
学術情報ネットワークでは、平成5年度にATM方式を採用したマルチメディア多重化装置(ASX-200)を採用し部分的にATM技術の導入を図ってきましたが、平成7年度では学内ATM-LAN間の相互接続のための広域ATM網を構築すべく、全国28箇所のノードと学術情報センターに高性能ATM交換機(NS8000)を導入しました。広域ATM網の運用は、第一段階の相手固定型(PVC)通信が平成8年10月から、第二段階の交換型(SVC)通信が平成9年3月から、それぞれ開始出来る見込みです。

また、SINETのより一層の高速化のため、高性能IPルータ(Giga router)を通信の集中する12ノードに導入し前述のATM交換機と連携した運用を行います。

2. 英国回線の開通

平成8年8月27日(火)から、日本-英国間に2Mb/sのSINET国際専用回線が開通しました。これにより、SINETから英国(および欧州)方面の通信状態が抜本的に改善される見込みです。なお、本回線の開通に伴い、日本-英国国会図書館(BL)等を接続しているパケット交換網用の国際専用回線(9.6Kb/s)は廃止する予定です。

学術情報ネットワーク機器構成概要図



ATM交換機 (NTT社製NS8000)

学内ATM-LANを収容するための高性能ATM交換機 (処理性能2.4Gbps又は10Gbps)

マルチメディア多重化装置 (FORE SYETMS社製ASX-200)

CLADおよびATMルータを集線し、ATM交換機に伝送する。

高性能IPルータ (Netstar社製 GigaRouter)

FDDI、ATM等のインターフェースを持つ高速・高機能なIPルータ。

CLAD：セル組立分解装置 (CASCADE社製 B-STD9000)

フレームリレー交換機およびフレームリレーをセル化し、ATM交換機に伝送する。

集線装置 (富士通社製 E-5340)

パケット (X.25) のインターフェースを持つ端末を集線する。

パケット交換機 (富士通社製 FETEX5000)

計算機等との間でパケット形式のデータの蓄積・交換を行う。

集合型IPルータ (NTT社製 BL-3000)

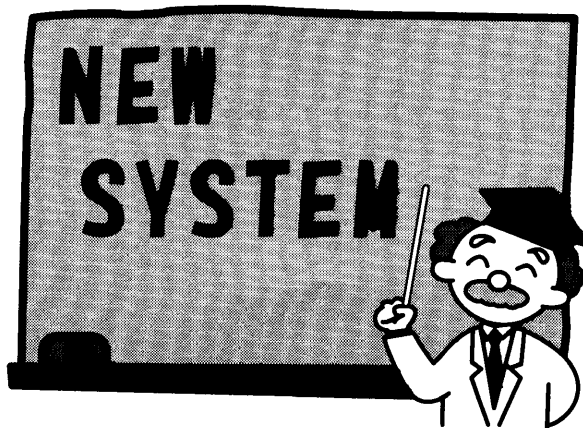
TCP/IPプロトコルの通信においてキャンパス情報ネットワーク間の経路制御等を行う。

電子メールシステムの機種更新

本センターでは、平成8年10月、電子メールシステムの機種更新を行います。今回の機種更新では、従来の機能は大型汎用コンピュータで継承しつつ、オープンプラットフォーム上で新サービスを提供するために、UNIX系サーバ群を加えた分散システムを導入します。

なお、今回の機種更新に併せて、国際電子メールで使用しているドメイン名の変更と、BITNETとのメール交換の中止を検討しています。詳細につきましては決定次第お知らせいたします。

また、移行作業のために、平成8年10月8日(火)9:00から10月14日(月)9:00まで、電子メールサービスを休止いたします。利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



新目録所在情報システム開発の進捗状況

1. オンライン負荷テストの実施

総合目録データベースの汎用データベースサーバへの移行を目指して、本番と同規模の大量ユーザによるシステムの性能評価を行うことを目的に、4月25日、5月23日、6月27日、7月12日、7月25日の計5回、オンライン負荷テストを行った。利用者各位には業務多忙の中、毎回多数のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

2. 総合目録データベースのサーバ移行

オンライン負荷テストの結果、現状では大規模ユーザの接続時に実用的なレスポンスが得られないことが判明した。また、サーバ移行時期として当初予定した8月までにはシステムの改善が困難であることがわかった。これらの結果をふまえて検討した結果、(1)システムの改善およびテストを行うためにさらに時間が必要であること、(2)移行には1週間程度システムを止めて作業を行う必要があるが、サービス停止の影響をできるだけ少なくする必要があることから、移行の時期については本年末を予定とすることに決定した。利用者各位には、移行の時期が遅れることによりご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしく願います。

3. 新目録所在情報システム業者説明会の開催

8月2日(金)に図書館システム開発業者向けの新目録所在情報システム説明会を開催し、業者29社の参加があった。説明会の内容は、以下のとおりである。

- (1) 新目録所在情報システムの考え方
- (2) 新目録所在情報システムの開発計画
- (3) 新目録所在情報システムプロトコル (CATP) およびCATP APIの解説
- (4) プロトタイプクライアントのデモンストレーション

なお、当日配布した資料はWWW (URLは<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/newcat/index.html>) で入手可能である。 (目録情報課)

新 I R 試験公開

センターニュースNo. 33 (1995.9) でお知らせしたオープンシステム対応情報検索システム (新IRシステム) について、試験公開を開始する予定ですので、その概要などをお知らせします。

1. 利用方法

(1) 利用時間

原則として、月曜日から日曜日まで24時間利用可能。ただし、試験中は、随時、

中断することがあります。

(2) 利用資格

現行の情報検索サービス（NACSIS-IR）の利用者であれば利用可能。

(3) 接続方法

①インターネット経由の接続（当面は、この方法のみですが、順次、接続の種類を増やしていく予定です。）

telnetコマンドで以下のIPアドレスを指定。

IPアドレス
157.1.16.3

②初期メニューで1.（NACSIS-IR）を選択。

(4) 検索コマンドの変更（主要なコマンド）

現IR		新IR
・ Search	→	Find
・ Display	→	Show
・ End	→	Stop

(5) 利用できるデータベース

試験公開中に利用できるデータベースは以下の8種。

- ・ 学位論文索引データベース（GAKUI）
- ・ 経済学文献索引データベース（KEIZAI）
- ・ 学術雑誌目次速報データベース（SOKUHO）
- ・ 雑誌記事索引データベース（NDLJPI, ZASSAKU）
- ・ 維新史料綱要データベース（ISHIN）
- ・ 国会図書館科学技術欧文会議録データベース（NDLPROC）
- ・ アメリカン・センター図書館総合目録データベース（ACCAT）
- ・ 大型コレクションディレクトリ（OGATA）

(6) 利用マニュアル

詳しい利用方法については、FAXサービスの「新IRシステム」をご覧ください。

2. 今後のスケジュール

新IRシステムの正式サービスは、平成9年4月以降を予定しています。試験公開の開始時期については、別途、お知らせします。

（データベース課）

学術雑誌総合目録CD-ROM新システムの開発

1990年3月に刊行した学術雑誌総合目録CD-ROMは、冊子体に比べて検索機能が充実している上、和文編・欧文編を統合しているために利用価値が高いとの評価を得ている。しかし、刊行後かなりの期間がたっているため、新版の刊行が望まれているところであった。

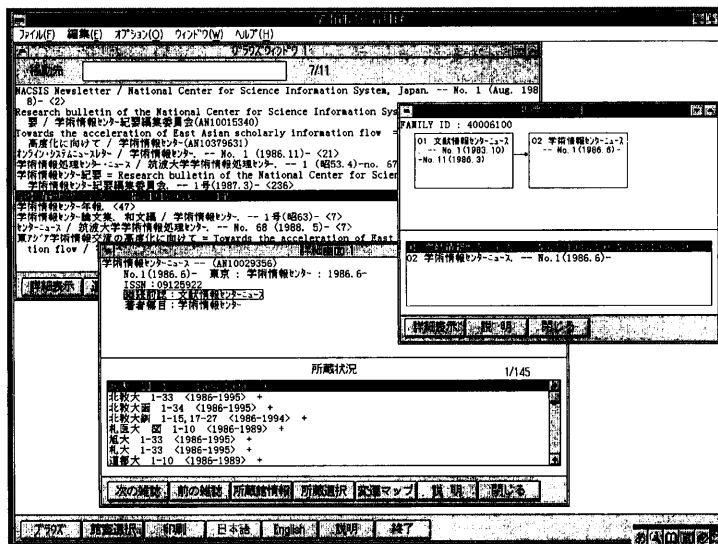
新版は1996年版和文編の改訂後に刊行する予定であるが、それを機に、従来MS-DOS対応であったシステムをWindows対応のものにする開発を現在行っている。本号では、この新CD-ROMシステムの機能の概要について紹介する。

1. 機能概要

- (1) ブラウズ表示 : 冊子体のようにブラウズ画面で雑誌名を一覧することができる。ここから雑誌を選ぶと所蔵情報を含む詳細な書誌情報を見ることができる。
- (2) 書誌選択 : ブラウズ画面の雑誌を、雑誌名中の単語などで選択することができる。和洋雑誌両方を選択することもできる。
- (3) 館室選択 : あらかじめ図書館室を選択し、その館室で所蔵する雑誌だけをブラウズ表示することができる。館室は複数選択できる。
- (4) 所蔵館選択 : 巻号や年次などの条件で、所蔵情報を絞り込むことができる。
- (5) 変遷マップ表示 : 変遷マップにより、誌名変遷を視覚的に把握できる。マップから各雑誌の書誌・所蔵情報を表示することもできる。

2. 対応機種

OSがWindows 3.1のマシンで動作する。Windows-NT, Windows95でも利用することができる。



(目録情報課)

学術情報センター10周年記念事業

本センターは昭和61年4月に大学共同利用機関として創設されて以来、本年で満10年を迎えることとなりました。

創立以来、関係各位と利用者の方々の温かいご支援により、目録所在情報サービス、情報検索サービス、電子メールサービス、学術情報ネットワーク等の事業も年々拡大・充実してきました。

また、電子図書館の試行サービス、超高速通信網の開発等を行い、マルチメディア時代に向けて先進的な研究開発を行っています。

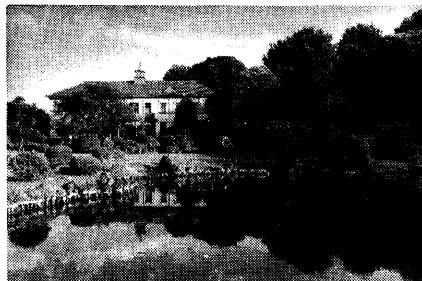
世界的規模で拡大する広範囲な学術分野で必要とされる情報を、迅速かつ的確に提供するという大きな責任を担って日夜邁進しているところです。

ここに創立10周年を迎えるに当たり、今日に至までの足跡を振り返り、本センターがますます充実発展を遂げ、社会の期待に応えるべき契機として、次のような記念事業を計画しています。

- 記念講演会 平成8年11月1日(金) 午後2時～
- 記念式典 平成8年11月1日(金) 午後4時～
- 記念祝賀会 平成8年11月1日(金) 午後5時～

以上の記念講演会、式典、祝賀会は国立オリンピック記念青少年総合センターで開催します。

- 記念誌の発行 「学術情報センター10周年記念誌」
「学術情報センター研究開発論文集」



学術論文数の国際比較調査

学術情報センター教授
ねがしまさみつ
根岸正光

学術研究活動の動向を把握することは、個々の研究者にとって研究計画を策定するのに必要であるだけでなく、学科、学部、大学等の研究組織や、学会、学術行政関連組織等にとっても、研究体制の整備、有効な学術振興策の展開などのために有用である。今般、筆者らは、科学研究費を受けて、研究動向の把握において最も基礎的な指標となりうる、発表論文数を国別、分野別、年次別に調査した。〈1〉

すなわち、理学、工学、医学の各分野について、国際的に有力な論文抄録データベース、INSPEC、CA(Chemical Abstracts)、COMPENDEX、EMBASEにおける収録論文数を、1976年から1993年までの各年別に、29の分野区分において検索して集計した。調査対象国は、日本、米国、英国、フランス、ドイツ、ロシア(ソ連)、カナダの7か国である。

学術情報センターでは、同種の調査を昭和62年度に実施し、結果を公表したが、その後10年近くを経た現時点での状況を把握するため、今般、ほぼ同様の枠組みで再調査を行ったものである。前回調査結果では、1985年現在で、わが国の論文数は理学、工学、医学の各分野を通じて、ほとんどの分野で米国について第2位、または米国、ソ連につぐ第3位になっており、また1976年から85年の間での論文数増加率は、7か国中最大であることがわかった。〈2〉

今回の調査結果によれば、1976年から93年の間を通じて、同様の趨勢が維持されているが、わが国の論文数が85年以降も順調な伸びを示す一方で、ソ連の解体に伴い、ソ連(ロシア)の論文数の低落が著しく、1993年現在では、わが国は、医学の3分野をのぞいて、各分野で米国に次ぐ第2位となっている。この間、世界の論文に占めるわが国の論文の割合(占有率%)は、多くの分野において、70年代では1桁であったものが、90年代では2桁になり、2倍を超える増加の分野もあって、平均して1.7倍の増加を示している。しかし、論文数を各国の人口当たりに換算してみると、世界第1位となるものが3分野ある一方で、医学と物理学の8分野では6位になるというように、分野別ないしデータベース毎の格差が大きい。

こうした調査結果の概略については既に報告したが、さらに詳細な分析および他の統計指標を合わせた上での比較・連関分析を現在進めている。〈3〉

(注)

- 〈1〉平成7年度文部省科学研究費補助金総合研究「文献抄録・引用索引データベースの統計処理に基づく学術研究活動の国際比較に関する研究」

研究代表者：根岸正光、研究分担者：宮澤彰、小山照夫、太田和良幸、孫媛、西澤正己(学術情報センター)、石井啓豊(図書館情報大学)、小澤宏(東京大学)、山崎茂明(東京慈恵会医科大学)、調査協力者：藤川俊三(前学術情報センター事業部データベース課長)、小山内正明(エルゼビア・サイエンス・ジャパン)、鈴木統、原修((社)化学情報協会)、白岩一哉、井戸隆英、飯塚由希子(情報図書館RUKIT)

- 〈2〉根岸正光「学術研究論文数の国際比較調査——結果と考察」

学術月報 Vol.41, No.7, p.40-47 (1988.7)根岸正光「学術研究論文数の国際比較 調査(その2)——産学官セクター別比較調査」学術月報 Vol.41, No.11, p.42-49 (1988.11)

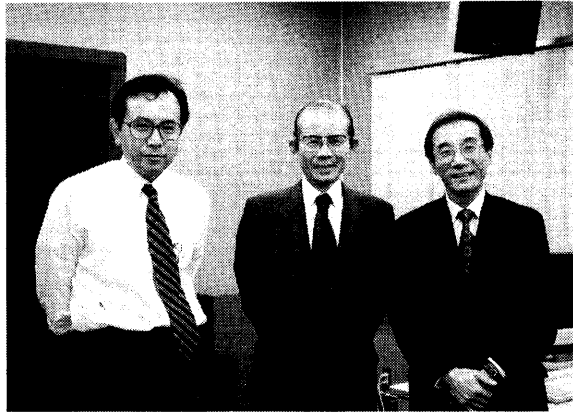
- 〈3〉根岸正光「学術論文数の国際比較調査——結果の概要と分析視点」

情報管理 Vol.39, No.4, p.245-257 (1996.7)

海外からの来訪者

全米科学財団 (National Science Foundation) のDr. Y. T. CHIENが日本における「国家情報通信基盤」(National Information Infrastructure: NII) 整備の実情調査のため、日本学術振興会の招へいにより来日され、平成8年4月1日(月)に学術情報センターを訪問された。

Chien氏は、センターの概要について説明を受けた後、電子図書館およびNACSIS-CAT, NACSIS-ILL, NACSIS-IRなどのデモンストレーションを見学した。また、米国におけるデジタルライブラリプロジェクトおよびNACSIS電子図書館プロジェクトについて、研究開発部小野教授、安達教授と意見交換した。



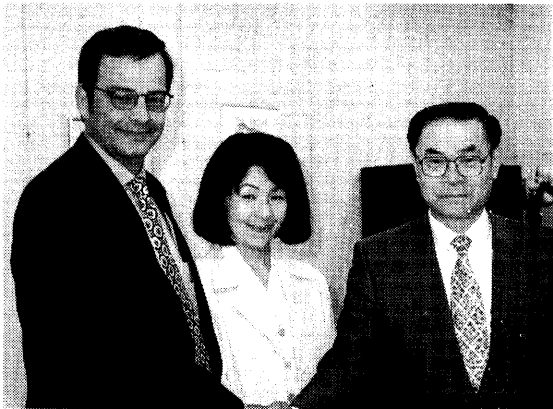
平成8年4月12日(金)に、中国社会科学院 (Chinese Academy of Social Science) 情報研究センター Tian Guoxing (田国興)主任, Zhang Zhiyin (張志銀)副主任, Lu Yimin (陸益民)情報処理室主任が学術情報センターを訪問された。

社会科学院情報研究センターは中国においても学術情報センターと類似の機構の構想をもっており、一行は、電子図書館, NACSIS-IR, NACSIS-CAT, NACSIS-ILLのデモンストレーションを見学された後、本センター教官と学術情報の蓄積、提供に関してディスカッションを行った。



デンマーク王立図書館学大学情報検索部門 (Department of Information Retrieval Theory, Royal School of Librarian-ship) 主任教授Peter Ingwersen博士は、慶應義塾大学の招聘により来日され、1996年4月30日(火)午後、センターを来訪された。

Ingwersen博士は、情報検索の認知的研究の世界的権威であり、ユーザの状況に即した柔軟な検索を実現するための多様な検索手法、データ構造、テキスト分析、ユーザインタフェースを提案し、これらを統合する「認知的観点」を提唱している。この認知的観点は、



近年、特に全文データベース、マルチメディア検索システムの設計において着目され、博士は、実証的研究とそれに基づく柔軟な情報検索システムの設計・評価のためのモデルに関する業績により、国際的な学術賞を複数受賞されている。

センターでは、井上副所長と懇談され、研究開発部教官の情報検索関連の研究のデモンストレーションをご覧になり、熱心に意見交換をされた。また、我が国の

学術情報流通におけるセンターの機能とセンター事業の多様性にも興味を示された。



マヒドン大学図書館情報センター (Library and Information Center, Mahidol University)は、タイ国を代表する医学図書館とされ、その起源はSiriraj病院の附属図書館として設置された1925年に遡るといふ。1943年に医学大学、1969年には三つのキャンパスに分散した現在のマヒドン大学に改組されてきた。(13学部, 5研究所, 教員2,100, 職員14,000, 学生12,000)。

医学図書館は大学中央図書館としても機能しており、全学の図書館に正規の職員63名、AV担当職員9名、情報専門家2名、事務職員54名、補佐員24名、運転手2名、臨時職員約40名が働いている。タイ国内におけるNATISプロジェクトのセンター館であり、SEAMICプロジェクトおよびWHOが推進しているHELLISプロジェクトのタイ・ナショナル・フォーカル・ポイントであり、ASTINFOのタイ代表でもある。

図書館情報センター長である、Ms. VIPA Goysookhoはマヒドン大学の用務で来日され、機会を捉えて1996年6月10日(月)に、タイ国在東京大使館のCHATCHAI Rojanavitit科科学技術参事官とともに当センターを来訪された。

所長との懇談に続き、センターの各種サービスのデモンストレーションにおいて、特に電子図書館に興味を示され、また、1995年9月以来、センターがタイ国NECTECとのあいだで維持している国際回線、タイ国を対象としてセンターが国際交流基金の助成を受けて推進している「アジア情報調査」などについても熱心に情報収集された。

「科学研究費補助金採択課題データベース」サービス開始

科学研究費補助金の交付が決定した研究課題を収録する「科学研究費補助金採択課題データベース」のサービスを平成8年9月10日（火）から開始しましたので、その概要などをお知らせします。

1. 概要

(1) 収録対象

文部省科学研究費補助金の交付が決定した研究課題。

(2) 収録範囲, 収録件数

1996年度以降のデータを収録し、サービス開始時の件数は30,734件。年間増加件数は約30,000件。

(3) 収録項目

研究課題名, 研究代表者名, 代表者所属機関, 配分額など。

(4) 呼び出しコマンド

「KAKENK」

2. 利用方法

データベースの内容および利用方法などについては、「NACSIS-IRデータベースシート(KAKENK)」をご覧ください。

なお、データベースシートはお手元のFAXから取り寄せることもできます。詳しくはセンターニュース36号の「FAX情報サービス」をご覧ください。

3. 利用料金

データベースを呼び出す都度・・・30円/回

なお、利用に係る経費は、各データベースの利用額の月毎の合計額にその3%を加算した額となります。

4. その他

科学研究費補助金により行われた研究の成果概要（書誌，抄録）を収録したデータベースとして、「科学研究費補助金研究成果概要データベース」（呼び出しコマンド「KAKEN」）があります。

（データベース課）

サービス予定のデータベース

センターニュースNo. 35 (1996.3) で4種のNAC SIS-IRのサービス予定データベースをお知らせしましたが、さらに、下記のデータベースを整備し、順次、提供していく予定です。(名称は仮称)

1. 日本における中東・イスラーム研究文献目録データベース (仮称)

我が国における中東およびイスラーム文化圏に関する学術文献の索引情報を収録。

2. 日本における中央アジア研究文献目録データベース (仮称)

我が国における中央アジア文化圏に関する学術文献の索引情報を収録。

3. 歴史研究者ディレクトリ (仮称)

我が国で研究活動をしている東洋史研究者のプロフィールおよび発表論文情報を収録。

4. 印度・仏教学研究ディレクトリ (仮称)

我が国で研究活動をしている印度・仏教学関係研究者のプロフィールおよび発表論文情報を収録。

以上、4種とも財団法人東洋文庫附置ユネスコ東アジア文化研究センター作成。

(データベース課)

「雑誌記事索引データベース」の改訂

すでにオンラインニュースでお知らせしておりますが、「雑誌記事索引データベース」について以下のように改訂してサービスしております。

1. 項目の変更

(1) 追加した項目

他言語雑誌名、編者、出版者、雑誌種別、記事種別、他言語標題*、本文の言語*、レポート番号* (*:1996年以降収録のデータに現れます。)

(2) 削除した項目

特集フラグ、臨時増刊フラグ、新規受入フラグ、分類コード#、索引採録区分・巻号# (#:1995年以前収録のデータには現れます。)

2. 索引の変更

掲載雑誌名(漢字)全体からの索引を今までのプリフィックスJ.に加え、プリフィックスJNL.としても作成するようにしました。

3. 更新頻度の変更

従来3か月に一度行っていたデータベースの更新を2週間に一度行うようにしました。

詳細については、「NAC SIS-IRデータベースシート(NDLJPI)」をご覧ください。

なお、データベースシートはお手元のFAXから取り寄せることもできます。詳しくはセンターニュース36号の「FAX情報サービス」をご覧ください。

(データベース課)

学術雑誌総合目録和文編1996の編集状況

1995年11月1日から1996年3月29日までを調査期間として、学術雑誌総合目録和文編の全国調査を行いました。あらためて、この調査にご協力いただいた参加館の皆様にお礼申し上げますとともに、和文編の編集状況について報告いたします。

1. データ提出状況

6月10日現在のデータの提出状況は、以下のとおりです。前回欧文編の全国調査時に比べて、オンラインとCD-ROM全国調査システムによるデータ提出の割合が、大幅に増加しております。センターとしては、今後とも、これら電子的手段によるデータ提出の普及を図って行く予定です。

(1) 参加機関数

*複数回答あり

書誌データ	オンライン入力	331 機関 (557 参加組織)
	CD-ROMシステム	130 機関 (136 参加組織)
	データシート	357 機関 (427 参加組織)
所蔵データ	オンライン入力	295 機関 (439 参加組織)
	磁気テープ	49 機関 (130 参加組織)
	CD-ROMシステム	128 機関 (134 参加組織)
	所蔵更新用リスト	351 機関 (421 参加組織)

(2) 提出データ件数

(単位：件)

		オンライン	磁気テープ	CD-ROMシステム	データシート	合計
書誌	新規	2,830	—	649	1,825	5,304
	修正	14,502	—	432	680	15,614
所蔵	新規	101,031	43,783	39,389	74,541	258,744
	修正	276,168	253,046	80,117	154,054	763,385
	削除	22,492	14,165	5,716	26,831	69,204
変遷報告		—	—	—	715	715

*オンラインの件数は、1995年11月～1996年5月の合計

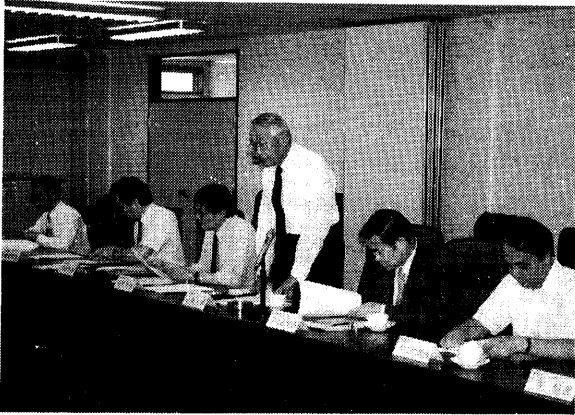
2. 現在の編集状況

各参加機関から提出いただいたデータの inputs は、ほぼ完了しました。現在は、1997年3月の和文編冊子体刊行に向けて、入力データの校正作業を鋭意行っております。

また、和文編の編集終了後には、和文編・欧文編を統合したCD-ROMの刊行も予定しております。

(目録情報課)

電子図書館サービス協力者会議 および学協会への説明会の開催



挨拶する猪瀬所長（第2回電子図書館サービス協会者会議）

学術情報センターは、平成9年4月から、電子図書館サービスの開始を予定しており、本年度の計画については、本センターニュース36号にてお知らせしました。

当センターの電子図書館サービスは、従来の情報検索サービスとは異なり、ネットワークを通じて、原文献を直接利用者へ提供するドキュメント・デリバリーの新しい形態のサービスです。この種のサービスにつ

いては、著作権の処理を含め、社会的な合意形成の途上にあります。そのため当センターにおいても、円滑なサービスを実現するため、広くセンター内外の意見を伺いながら、サービスへの体制づくりを図りたいと考えています。

そこで、外部委員を含めた「電子図書館サービス協力者会議」を設置し、第1回（平成8年2月7日（水））、第2回（平成8年7月31日（水））の会議を開催しました。第1回においては、センターから電子図書館サービスの概要について説明が行われた後、学会活動への影響を含めた著作権、サービス対象資料や他の関連機関との関係などについての意見交換が行われました。さらに、第2回では、平成9年度のサービス開始に向けて、著作権処理へのセンターの考え方やサービスの進め方についての説明に対して、活発な意見交換が行われ、今後の事業の展開に有益な意見をいただきました。

また、昨年度に引き続き、学協会に対する今年度第1回目の電子図書館サービスについての説明会を平成8年7月29日（月）に行いました。今回は、日本工学会関係学協会の事務局代表者35学会の方々へ、センターの電子図書館サービスにおける著作権処理の考え方についての説明とデモンストレーションを行いました。参加された学協会の方々からも、著作権処理についての意見が多く出され、電子図書館サービスや同様のサービスでの著作権に関する関心の高さがうかがえました。

「電子図書館サービス協力者会議」および学協会への説明会については、今後も順次開催し、学協会をはじめとする関係団体の電子図書館サービスへの理解を得ながら、同サービスの充実を図り、サービス開始に向けて準備を進めていきたいと考えています。また、利用者である大学などの図書館・研究者の方々への説明についても、今後進めていく予定としています。

（データベース課）

学術の総合情報センター（仮称）

—建設工事順調に進む—

東京都千代田区一ツ橋（一橋講堂跡地）に建設中の、学術の総合情報センター（仮称）ビルは、今年5月に始まった埋蔵文化財の現地発掘調査も終了し、予定通り工事が始まりしました。発掘された埋蔵文化財については、今後、平成10年度末までの2年計画で、保存整理が進められます。

来年度以降の建設予算は、まだ決定していませんが、順調に推移した場合は、平成11年度末の完成が予定されています。

学術情報センターでは、インテリジェントビルの完成と平行して、21世紀に向けた新たな事業展開に、所員一丸となって取り組んでいます。

（会計課）



接続ニュース

前号以降、新たに目録所在情報サービスの参加機関となった図書館は、以下のとおりです。

（平成8年8月5日現在）

No.	機 関 名	接続日	No.	機 関 名	接続日
452	東京国立博物館	8.5.24	459	名古屋造形芸術大学	8.7. 4
453	放射線医学研究所	8.5.31	460	豊田工業高等専門学校	8.7. 9
454	平成国際大学	8.6.10	461	福山平成大学	8.7.10
455	長崎外国語短期大学	8.6.20	462	東京国立近代美術館	8.7.17
456	呉工業高等専門学校	8.6.28	463	徳山工業高等専門学校	8.7.29
457	養殖研究所	8.7. 1	464	苫小牧工業高等専門学校	8.7.29
458	西九州大学	8.7. 4	465	京都文教大学	8.8. 5

この結果、参加機関数は、国立大学98、公立大学35、私立大学233、共同利用機関12、短期大学28、高等専門学校11、その他48、合計465となりました。（共同利用第一係）

NACSIS-IRデータベース収納状況

平成8年8月23日現在

No.	データベース名称	収納件数	収録期間
1	科学研究費補助金 研究成果概要データベース	171,792	1985年4月～
2	学位論文索引データベース	121,134	1984年4月～
3	学会発表データベース	257,643	1987年3月～
4	学術論文データベース第一系(電子)(全文) (電子関連) (抄録)	4,202 6,807	1989年4月～
5	学術論文データベース第二系(化学関連)	18,902	1983年1月～
6	学術論文データベース第五系(理学関連)	8,808	1991年3月～
7	海外研究プロジェクトデータベース	80,972	1992年1月末現在
8	民間助成研究成果概要データベース	4,878	1964年～
9	経済学文献索引データベース	146,868	1983年1月～
10	学会予稿集電子ファイル	183,552	1955年4月～
11	臨床症例データベース	7,495	1981年1月～
12	学術雑誌目次速報データベース	42,562	1952年1月～
13	雑誌記事索引データベース	1,266,906	1984年1月～
14	民間助成決定課題データベース	3,939	1994年4月～
15	現行法令データベース	3,840	1995年11月現在
16	維新史料綱要データベース	28,667	
17	古文書目録データベース	3,014	
18	木簡データベース	15,925	
19	研究者ディレクトリ	126,561	1993年12月現在
20	データベース・ディレクトリ	1,752	1994年7月現在
21	家政学文献索引データベース	106,353	1945年～
22	RAMBIOS	10,309	1983年4月～
23	化学センサーデータベース	18,086	1975年1月～
24	日本独文学会文献情報データベース	26,393	1947年～
25	スラブ地域研究文献データベース	3,373	1988年～
26	電気化学データベース	80,732	
27	文化財科学文献データベース	19,069	1879年～
28	化学と教育誌データベース	3,537	1972年～
29	現代邦楽作品データベース	1,665	1963年～

No.	データベース名称	収納件数	収録期間
30	日本建築学会文献索引データベース	71,781	1976年～
31	北海道大学北方資料総合目録データベース	43,800	
32	Life Sciences Collection PLUS Marine Biology and Bio Engineering	1,637,070	1982年1月～
33	MathSci	1,797,946	1940年1月～
34	COMPENDEX PLUS	3,299,773	1976年1月～
35	Harvard Business Review	2,860	1927年1月～
36	ISTP & B	2,831,104	1982年1月～
37	EMBASE	3,929,214	1984年4月～
38	SciSearch	10,086,783	1983年1月～
39	Social SciSearch	1,743,109	1983年1月～
40	A & H Search	1,573,162	1983年1月～
41	目録所在情報データベース (和図書)	1,211,226 15,802,243	
42	目録所在情報データベース (洋図書)	2,440,424 7,689,377	
43	目録所在情報データベース (和雑誌)	82,647 1,694,062	
44	目録所在情報データベース (洋雑誌)	129,763 1,145,484	
45	科学技術関係欧文会議録データベース	47,378	1985年1月～
46	アメリカン・センター図書館 総合目録データベース	5,883	1993年10月現在
47	JPMARC	1,818,879	1868年1月～
48	LCMARC(Books)	4,077,348	1968年1月～
49	LCMARC(Serials)	715,992	1973年1月～
50	大型コレクションディレクトリ	509	1978年4月～
51	日本の医学会会議録データベース	20,997	1990年～
52	学術関係会議等開催情報 (日本学術会議編)	18,496	1991年4月～
53	学協会集会スケジュール (日本工学会編)	6,401	1992年7月～

(注) No41～44のデータベースの上段は書誌件数，下段は所蔵件数。(システム業務係)

NAC SIS-CATデータベース構築状況

平成8年8月23日現在

データベース名称		収納件数	備考(収録期間等)	
総 合 目 録 デ ー タ ベ ー ス	和 図 書	書 誌	1,211,838	
		所 蔵	15,820,061	
	洋 図 書	書 誌	1,708,743	
		書誌(遡及)	732,538	
		所 蔵	7,695,325	
		和 雑 誌	書 誌	85,890
		所 蔵	1,854,274	
		洋 雑 誌	書 誌	131,017
	所 蔵		1,156,061	
		著 者 名 典 拠	880,830	
		統 一 書 名 典 拠	10,574	
		和 雑 誌 変 遷 マ ッ プ	9,434	
		洋 雑 誌 変 遷 マ ッ プ	13,316	
参 照 フ ァ イ ル	LC/MARC	洋 図 書 書 誌	4,929,187	1968年1月~1996年 7月
		洋 雑 誌 書 誌	715,992	1973年1月~1996年 7月
		非 文 字 書 誌	268,147	1973年1月~1993年 7月
		洋 書 著 者 名 典 拠	2,908,573	1977年1月~1996年 7月
		洋 書 統 一 書 名 典 拠	170,846	1977年1月~1996年 7月
	JP/MARC	和 図 書 書 誌	1,825,260	1948年1月~1996年 8月
		和 雑 誌 書 誌	95,846	1968年8月~1994年10月
		和 書 著 者 名 典 拠	327,561	
	UK/MARC	洋 図 書 書 誌	1,572,180	1950年1月~1996年 8月
	TRC/MARC	和 図 書 書 誌	498,522	1985年4月~1996年 8月
GPO/MARC	洋 図 書 書 誌	397,898	1976年1月~1996年 7月	

(システム業務係)

神戸大学共催の目録システム地域講習会 (雑誌コース) の開催

かねてから開催の要望が高かった目録システム地域講習会(雑誌コース)を、今年度は神戸大学の協力により以下の日程で開催することとなりました。当講習会の実施要項およびカリキュラムに関しては、「平成8年度教育研修事業要綱」の中の「目録システム地域講習会」の部分(p.9-p.12)をご参照ください。

開催機関	開催期間	申込み締切日	定員
神戸大学	8.11.12(火)～8.11.14(木)	8.10.4(金)	12名(10名)

注：定員欄の()内数字は開催機関外からの受入定員です。

当講習会へのお申込みは、「平成8年度教育研修事業要綱」巻末の「平成8年度目録システム地域講習会 推薦書」の開催機関名の欄に「神戸大学 雑誌コース」と明記し、必要事項をご記入の上、本センター研修課企画係にお送りください。(研修課)

講習会日程の変更

「平成8年度教育研修事業要綱」でお知らせしました講習会の日程を以下のように一部変更します。

受講申込みを予定されていた皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、お申込みの際はご注意願います。

講習会名	開催機関	開催期間	申込み締切日	要綱記載頁	備考
NACSIS-IR 地域講習会	名古屋大学	8.11.7(木)～8.11.8(金)	8.9.27(金)	P.21	変更前
		↓			
		8.11.19(火)～8.11.20(水)	8.9.27(金)		

なお、申込みは、「平成8年度教育研修事業要綱」の推薦書に必要事項をご記入の上、本センター研修課企画係へお送りください。(研修課)

平成8年度 サービス利用説明会開催

本センターの各サービスを利用していない機関を対象として、下記の日程で利用説明会を開催しています。この利用説明会では、各サービスの紹介、概要説明、申請方法の説明などを行っています。これらの説明会は操作方法等の講習会ではありませんのでご注意ください。

1. 目録所在情報サービス利用説明会

(1) 主な内容

- ①学術情報センターの概要、②目録所在情報サービスの概要、

- ③学術情報センターとの接続方法, ④利用申請方法, ⑤研修の申込方法,
⑥質疑応答・個別相談

(2) 開催日時および申込締切

	開 催 日 時	募 集 開 始	申 込 締 切
第3回	平成8年10月4日(金) 13:30~16:30	平成8年8月1日(木)	平成8年9月20日(金)
第4回	平成9年 2月7日(金) 13:30~16:30	平成9年1月6日(月)	平成9年1月24日(金)

(3) 対象機関

目録所在情報サービスに未接続の①国公立大学, ②短期大学, ③高等専門学校,
④文部省および文化庁の施設等機関等, ⑤国公立試験研究機関, ⑥学術研究法人
および学会, ⑦都道府県・政令指定都市立図書館など

2. 情報検索・電子メール利用説明会

(1) 主な内容

- ①学術情報センターの概要, ②情報検索サービスの概要,
③電子メールシステムの概要, ④利用申請方法, ⑤接続方法, ⑥研修の申込方法,
⑦質疑応答・個別相談

(2) 開催日時および申込締切

	開 催 日 時	募 集 開 始	申 込 締 切
第3回	平成8年11月8日(金) 14:00~16:30	平成8年9月2日(月)	平成8年10月25日(金)

(3) 対象機関

- ①国公立試験研究機関, ②学会など

※ 本サービスの普及や本センターとの連絡調整などを担当される職員の方を対象に
しています(個人としての参加は出来ません)。

3. 学術情報ネットワーク加入説明会

(1) 主な内容

- ①学術情報センターの概要, ②学術情報ネットワークの概要,
③学術情報ネットワークとの接続の準備,
④学術情報ネットワークの加入申請手順,
⑤研修の申込方法, ⑥質疑応答・個別相談

(2) 開催日時および申込締切

	開 催 日 時	募 集 開 始	申 込 締 切
第3回	平成8年11月22日(金) 14:00~16:30	平成8年4月1日(月)	平成8年11月8日(金)

(3) 対象機関

学術情報ネットワークに未接続の①国公立大学, ②短期大学, ③高等専門学校,
④文部省および文化庁の施設等機関等, ⑤国公立試験研究機関, ⑥学術研究法人
および学会, ⑦都道府県・政令指定都市立図書館など

なお、各回先着14機関とさせていただきますので、希望日を共同利用第一係まで電話(03-3942-6933)で予約(確認)のうえ、①参加希望の説明会名(目録所在情報サービス、情報検索・電子メール、学術情報ネットワーク)、②参加日(第○回○月○日)、③機関名、④機関の所在地、⑤参加者の職名および氏名(2名以内)、⑥連絡先の電話番号を記入して共同利用第一係までFAX(03-3942-6797)でお申し込みください。FAXの書式例は研修事業要綱に、「利用(加入)説明会申込みFAX送信票」が添付されていますのでご利用ください。

平成8年度 学術情報センターシンポジウムの開催

平成8年度学術情報センターシンポジウムを次のように開催します。

1. テーマ ネットワークコンピューティングの進展と学術情報流通
2. 内容
 - ①ネットワークと新しい情報処理のパラダイム
大阪大学 大学院工学研究科 教授 寺田浩詔
 - ②ネットワークとオンライン出版
学術情報センター 研究開発部 助教授 橋爪宏達
 - ③Javaの可能性とその事例
東京理科大学 工学部経営工学科 教授 溝口文雄
 - ④Javaによるデータベース検索
学術情報センター 研究開発部 助手 片山紀生
 - ⑤Javaによる新目録システムインタフェース
学術情報センター 研究開発部 教授 宮澤 彰
 - ⑥質疑応答
*2会場ともに同じ内容で実施します。
3. 日時・場所

○関西会場 平成8年12月12日(木) 10:00~16:20
大阪府立中央図書館ライティホール(定員 380名)
(大阪府東大阪市荒本北57-3番地)
交通:地下鉄中央線(近鉄東大阪線)「荒本」駅 徒歩5分

○東京会場 平成9年1月23日(木) 10:00~16:20
東京大学安田講堂(定員 450名)
(東京都文京区本郷7-3-1)
交通:営団地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅 徒歩約10分
4. 参加費 無料
5. 申込み方法

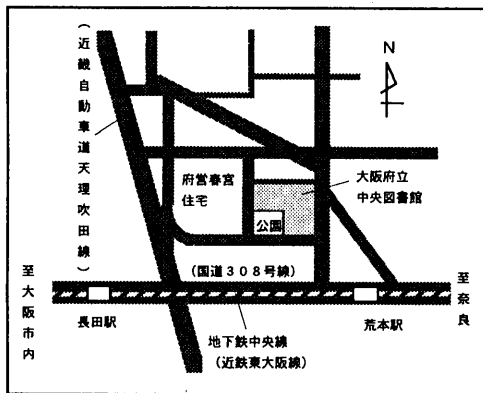
参加をご希望の方は、葉書、FAXまたは電子メールで
①参加会場名、②参加者氏名、③勤務先または所属機関の名称と所在地、④職名、⑤連絡先電話番号およびFAX番号を明記の上、学術情報センター研修課企画係へお申込みください。WWWのホームページからもお申込みいただけます。
*先着順に受け付け、申込みが各会場の定員に達し次第締切りとします。

6. 申込み・お問い合わせ

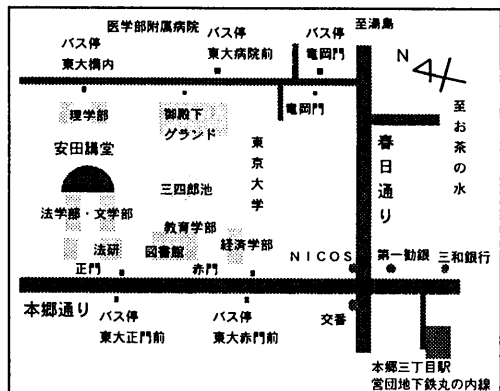
〒112 東京都文京区大塚 3-29-1
 学術情報センター 研修課企画係
 電話 (03) 3942-6935 (直通)
 FAX (03) 5395-7477
 電子メール NACSIS-MAIL: Z00515 E-mail: edu@hrd.nacsis.ac.jp
<http://www.nacsis.ac.jp/nacsis.index.html>

7. 会場案内図

両会場とも駐車場がありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



関西会場



東京会場

(研修課)

学術情報センター刊行物一覧

[平成8年3月～平成8年6月]

誌名および発行頻度

発行日

センターの総括的出版物

学術情報センターニュース 最新刊36号 季刊 '96.6.14

研究報告

学術情報センター紀要 第8号 '96.3.29

アジア情報スーパーハイウェイ上におけるアジア情報 1995年度報告 '96.3.25

調査報告

平成7年度 学術情報データベース実態調査報告書 '96.6

(発行日を6月に訂正します)

講習会テキスト等

オンライン・システムニュースレター 最新刊No.55 '96.6.30

人 事 異 動

発令年月日	氏 名	官 職 名	旧 官 職 名
(転 出)			
8. 7. 1	鳴澤 直子	信州大学繊維学部	教育研修部研修課企画係
(転 入)			
8. 8. 1	豊田 正美	管理部会計課施設・管財係	埼玉大学工学部
(所内異動)			
8. 8. 1	渡邊満理子	教育研修部研修課企画係	管理部会計課総務係

海外渡航一覧

6. 3 ~ 6. 7	趙助手 (アメリカ合衆国)
6.22 ~ 7. 1	松方助教授 (カナダ)
6.23 ~ 6.30	根岸教授 (アメリカ合衆国, 連合王国)
6.23 ~ 6.30	西澤助手 (アメリカ合衆国, 連合王国)
6.25 ~ 6.30	浅野教授 (フランス)
6.27 ~ 6.30	安達教授 (大韓民国)
6.29 ~ 7. 7	小野研究開発部長 (スイス)
7. 3 ~ 7. 9	内藤教授 (タイ, シンガポール)
7. 3 ~ 7. 8	井上副所長 (連合王国)
7. 3 ~ 7.12	宮澤教授 (連合王国)
7. 4 ~ 7.11	太田和助教授 (アメリカ合衆国)
7. 7 ~ 7.12	大山助教授 (カナダ)
7.10 ~ 7.15	小野研究開発部長 (アメリカ合衆国)
7.17 ~ 7.21	浅野教授 (連合王国, ベルギー)
7.26 ~ 8.25	西澤助手 (中華人民共和国)
8. 2 ~ 8. 6	相澤助教授 (アメリカ合衆国)
8. 5 ~ 97.8.4	神門助手 (デンマーク王国)
8. 6 ~ 8.29	小野研究開発部長 (スウェーデン)
8.21 ~ 8.26	趙助手 (アメリカ合衆国)
8.22 ~ 8.26	浅野教授 (アメリカ合衆国)
8.23 ~ 9. 1	根岸教授 (中華人民共和国)
8.23 ~ 9. 7	孫助手 (中華人民共和国)
8.24 ~ 8.31	高須助教授 (オーストリア)
8.27 ~ 8.31	内藤教授 (中華人民共和国)
9. 1 ~ 9. 7	太田和助教授 (中華人民共和国)

海外からの来訪者一覧

[平成8年4月18日～平成8年9月12日]

4. 30 デンマーク王立図書館学大学情報検索理論学部主任教授
Dr. Peter INGWERSEN 来訪
6. 10 マヒドン大学図書館情報センター長 Ms. VIPA Goysookho,
一等書記官 Mr. CHATCHAI Rojanavitit 来訪
6. 12 バンコク日本文化センター Mr. Hiroaki IIZAWA 来訪
6. 13 シラキウス大学情報学部学部長 Dr. Raymond F. von DRAN,
同夫人 Mrs. Gisela von DRAN 来訪
6. 21 コロラド大学ボルダー校言語学部 Ms. Kumiko TAKAHARA,
同大学院生 Mr. Yoshiteru ASANO 来訪
6. 25 スイス大使館科学技術担当参事官 Jean-Marie RAYROUX,
同参事官補佐 船山むつみ氏来訪
7. 24 カリフォルニア大学パークレイ校大学院生 Mr. Taku TOKUYASU 来訪
7. 31 韓国科学技術研究院技術情報室図書館員 Ms. LEE Yeon Ok,
Ms. HAN Myeong Won,
韓国科学技術研究院東京事務所科学技術担当 Mr. KIM Joo Kyun 来訪
8. 14 オハイオ大学図書館長 Mr. Hwa-Wei LEE, 副館長 Ms. Salinda ARTHUR 来訪
8. 15 ニューヨーク市立大学メドガーエバース校図書館教授 Dr. Suzine Har NICOLESCU
来訪
8. 27 バングラデシュ女性および児童省研究員 Ms. Sajida KHATUN,
イラン総理府女性局研究員 Ms. Shahia AKTIARY,
パキスタン統計局労働統計係統計官 Ms. Zahra BUKHARI,
フィリピン女性の役割国内委員会統計官 Ms. Znita Estrera BALEDA,
チュラロンコン大学社会科学研究所研究員 Ms. SUDTHIDA Wongsathapornpat,
トンガ総理府女性係副秘書官 Ms. Polotu 'Akanesi F. Fakafanua 来訪
9. 6 チリ共和国議会図書館長 Ms. Ximena Feliu Silva, Ms. Marialyse Delano Serrano
来訪
9. 11 韓国データベース振興センター 代表団20名来訪
9. 6 ラトガス大学ローリー音楽図書館目録主任 Ms. Harriette HEMMASI,
ラトガス大学学术交流センター運営主任 Ms. Rinda LANGSCHIED 来訪

学術情報センターニュース (第37号)

1996年9月13日発行

発行人 猪瀬 博

発行 学術情報センター 〒112 東京都文京区大塚3丁目29番1号

電話 (03)3942-6937 (直通) 共同利用課 情報・資料係